

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームエルムの家(ひだまり)	評価実施年月日	平成19年8月30日
評価実施構成員氏名	田中道子、礎 菜美、坂東真由美、熊田貴之、佐藤まり子、高橋 順、能代谷智枝子		
記録者氏名	田中道子、礎 菜美、坂東真由美、熊田貴之、佐藤まり子、高橋 順	記録年月日	平成19年8月30日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>わかりやすく具体的な内容で職員、利用者様、御家族が目に触れる位置、ろうフに掲示しており、常に努力をしている所です。</p>		<p>2か月に1度推進会議を開催している。 町内会、及び地域密着し、地区センターを利用し交流を深めている。</p>
<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>理念を日々の実践に結びつける具体的な内容にはるよう申し送り、臨時・定期カンパリスを開催し取り組んでいる。理念は常に目につきやすい所に掲示してあるので気づける事が出来る。</p>		<p>・利用者様の自由な空間の中でその人らしい様に尊重している。 ・自由に発言出来る環境である。 ・朝の申し送り時などホム長が職員へ具体的に話をしている。</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>2か月に1度の家族会開催には町内会長が出席して下さり、理解して頂ける様取り組み時には町内回覧に掲載して頂いている。</p>		<p>・家族会は地域の方の家族に積極的に呼びかけをし、参加して頂いている。</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>・町内会に入会し、町内会の清掃時には利用者様と参加したり、こちらから挨拶をおこなう心がけている。 ・利用者様と散歩途中に花をわけて下さり、庭の花を持ち訪問し下さる地域の方もありです。</p>		<p>・ホムで収穫した野菜を届けた。母体建設会社が近隣の除雪排雪の協力をしては ・行事ではホムや公園、地域の方、業者の方、家族の方の参加を増やしている。</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>・町内会に入会し、夏のイルミネーションでは町内回覧に掲載して頂き気軽に参加して頂けるようイルミネーションも開放し、交流を持つように心がけている。</p>		<p>・イルミネーションは外にはライトを家の中でも、やはり食事をした後、休憩の時間を兼ねる空間を作り、利用者様、地域の方が交流できる配慮もしている。</p>
<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>・町内会清掃日に参加。</p>		<p>・近隣の病院に利用者様の作品を展示依頼に参加。 ・町内会清掃日以外でも公園やホムの近隣のゴミ捨て場利用者様と実施している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>7 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>ホームの運営理念を見やすい所に明示し入居者はご家族に分かりやすく説明しかつ改善に向けて取り組んでいる。</p>		<p>○入居者さんの個性を生かし、今後も生き口とした生活を営めるようさらに取組んでいきたい。</p>
<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>8 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>家族・利用者・地域の生活センターの方とホーム職員・町内会長さんと一緒に頂き意見交換を積極的に取り組んでいる。</p>		<p>地域のまちづくりセンター主催の研究例会等に利用者さん含め職員が参加している。今後も積極的に参加して行きたい。</p>
<p>○市町村との連携</p> <p>9 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>必要に応じて相談しアドバイスも受けている。</p>		<p>今後も質の向上に取り組んで行きたい。</p>
<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>10 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>その都度利用者さんへ対応し、管理者や職員は対応支援している。</p>	○	<p>職員一同が理解出来る様機会があれば研修等に参加して行きたい。</p>
<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>11 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>つねに家族に利用者さんの普段の生活を理解して頂き、管理者や職員は言葉や態度に気をつけて努めている。</p>		<p>言葉ひとつひとつも細心の注意を払い、綿密で神経が行き届くよう取り組んで行きたい。</p>
4. 理念を実践するための体制			
<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>12 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居される前にはホームを見学していただき、管理者との話し合い理解し納得して頂き、本人の理解も得て入居して頂いている。</p>		<p>今後も今まで通り、本人・家族を尊重し、支援に努めてまいります。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 ○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関付近にオミダシ窓口のポスターも貼り、ホーム外の相談窓口の連絡先を表示している。 玄関に御意見箱を設置している。 利用者さん、ホーム長、事業長、職員参加の話し合いも行っている。</p>		<p>直接意見等を聞き理解して頂いている 現在苦情はありません</p>
<p>14 ○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>毎月居室担当者より、家族の方への手紙も郵送している。他に家族の方への電話連絡も面会時に相談・報告も随時行っている。</p>		<p>御家族に対して様子を随時報告し 安心して頂いています。 家族の方が来られた時に気軽に話して頂ける場を作っています</p>
<p>15 ○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>電話連絡や来所された時に状況報告する際には、家族の意見、不満、苦情に関する話題をカンファレンス開催時に伝え、検討しています。</p>		<p>そのような場合は前向きに受け止め 対応させて頂いています。</p>
<p>16 ○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全体会議をもつて意見交換をしている。 各フロア担当者の意見に片寄せとなく どのような意見も話し合い検討しています。</p>		<p>ホーム長・事業長と意見交換し改善すべき 事は改善しています。 毎月の全体会議を開催し、意見交換 しています</p>
<p>17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>柔軟な対応が出来るよう、全フロア勤務調整を行って 実施している。 ボランティア参加の調整も行っています</p>		<p>各フロア勤務調整スムーズに実施し 事務長・ホーム長も勤務更迭</p>
<p>18 ○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>移動は少人数とし職員は日常から他の階の 利用者さん交流和信を持つよう心掛けている為 ダメージが軽減されていると思います。</p>		<p>半年に1度の勤務交代を実施しているが 2~3名程度とし、職員は日常から他の階へ 顔を出し交流するよう心掛ける、あい工つたを 積極的に事掛けも行っている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
<p>19 ○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>・研修会や勉強会も受ける機会の確保を行っている。</p>		<p>今後も職員の意欲を尊重し 資格取得に努めている ホーム独自の教育研修も行な っている</p>
<p>20 ○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>行事に参加している 同区同業者との交流の機会を持ち 勉強会・職員一丸になりサービスの質を向上 している</p>		<p>同業者のお祭りに参加したり、 スタッフ向け学習会があり参加 する予定である</p>
<p>21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>職員の勤務を配慮している 食事会を行ったり、コミュニケーション場を 作っている。相談に応じている。</p>		<p>管理者に相談しやすく、お互い ねぎらいの言葉かけに気を配って いる</p>
<p>22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。</p>	<p>健康・管理に努め、又楽しく仕事が出来 る。職員同士のコミュニケーション 管理者が意欲を持って働ける様子を 実践している</p>		<p>・職員一人一人の話を機会を持ち理解 に心がけやすい環境を作っている ・職員のレクリエーション会等 がある</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
<p>23 ○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>初期にあたり、本人が慣れるまで職員が 見守り、あらゆる場でコミュニケーションも持 つ事により安心感も得て頂いている。</p>		<p>・入居者本人の背景を尊重し出来る かぎり、配慮と介護に努めて いる。</p>
<p>24 ○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>家族が来社した時、食事をして いたたり、家族の不安や求めている事 をよく理解しアドバイスまたは受け止める 努力をしている。</p>		<p>・訪問時には気軽に自由に 時間を問わず、過さず頂いて いる。又宿泊も可能である。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>25 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>○ホーム長、事務長、ケアマネジャー含めた、臨時カンファレンスの開催。また、ホーム長と利用者さん全員参加して話し合いの場をもうけ、協力を得る等 フoyer全体で本人に対して支援している</p>		<p>利用者さんを中心としたニーズで考えていますか？ また、家族の精神安定が第一に解決しなければならぬ、ケースも多々あり対応しています。</p>
<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>26 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>○ホーム長、職員、利用者さん全員参加の話し合いの場をもうけ、馬川環みんからのサセス提供を奨励し、環境を作る。 ○家族に対して近況報告もするの、理解を得られている。</p>		<p>○ビュイオで撮影した物を看見ていただいたり、居室やリビングでの日常生活をやつたりと、一応団気で通して頂ける様サセス提供 ○家族的雰囲気と存る様、スタッフ利用者さんの協力のもと実施出来ている。</p>
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>27 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>○さびしい介護を任う事で、本人のアラヤ 誤りを傷つけないように忍耐強く偉態かする。 ○本人が思っている程度に合わせて支援をする姿勢があるので支えあう関係は築いている。</p>		<p>○本人がげい票、望む事を時間をかけ話し合い、文付出来る。 ○本人に対して、心地よい、コミュニケーションがとれるよう心がけている。</p>
<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>28 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>○上記を基本に考え、その都度 家族に連絡を取り、石巻認みんからの対応をしているので良い、関係を築いている。</p>		<p>○家族の意見、考えを重点に置いた介護支援をしている。 ○家族のつらい心づきを考えなければならぬので、その旨受け入れている。</p>
<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>29 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>○車操作りを通じて、本人のアラヤの水やり、手入等の関わりをして頂き、その時を楽しんでもらっている。 ○家族間のトラブル相談を受け、解決につとめている。 ○作業を本人と作り、家族にプロデュースしている。</p>		<p>○家族間の窓口となり、利用者さんの支援に対し、家族間で意見のくいちがひなどのトラブルが生じた時、仲介に入り良い家族関係となるように心がけて実施している。</p>
<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>30 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>○本人の希望を尊重し、提供している。</p>		<p>○山菜先置りに出かけた ○居室に電話かみり、連絡がとれている。 ○電話は自由にかけるようにしている。 ○毎食、食事、食事を一緒に食べるようにしている。 ○家族との相談をできるようにしている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	毎日の生活の中で信頼関係を得られる場面作りに取り組んでいる。 人間関係作りに対して、境がある対応に努めている。		リレーションや行事や同じ趣味をふまえて関係作りを努めている。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	年賀状、法要の時はお花を届けたい。 退所後もエルク祭への参加のお誘い		今後も続けて行きたい
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人の個性を活かし、思いや希望にそった家庭的な雰囲気が出るよう努め、買い物や習い事も希望に添った職員同行のついでに実行している。		今後もよりいっそう、一人一人を尊重し、左実戦していきたい。
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	可能の方は、近くのスーパーや馴染みの暮らしを継続する為、一人で買物もしている方もいる。又他利用者様は職員同行のついでに希望に添った外出等に努めている。		平等に利用者様の希望に添える様、今後も同様、暮らしを築める様取り組んで行く。
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	車イス生活の方、歩行の困難な方、一人で外出困難な方を、一人一人一日のあつた暮らし方を把握している。遊びの中にパズル、絵画、お茶の等の好みをしておいて頂いている。		某の一角として近くの病院に依頼があり、作品の展示、出品している。今後も続けていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	家族、面会した際、現状をお話し、利用者様の背景等を尊重し、暮らしやすい方について、介護支援専門員、職員が一丸になり、よりよい支援が出来る様に取り組んでいる。		100%とは言えないが、ほぼ取り組んで来た計画は達成している。今後も更に、よりよい介護支援に努めてまいります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	家族に介護計画の意味を説明し本人の現状に即した計画の為に意見を求めカンファレンス時や職員から出る意見を取り入れ、本人が望む計画を作成するようになっている。		毎月のケース会議で現状に即した計画を介護支援専門員の監理のもと作成し、本人家族の同意を得て見直しを行っている。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	1か月ごとのケアプランのまとめを作成し担当者や本人の意見を求めておきカンファレンス時結果や意見交換が行われ、会議の記録もあついで確実に実施している。		毎朝全エグサで中送りを実施し、介護職員の意見を週リーフレットに記録し、情報を共有し実施に活かしている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	通院、復診、入院対応、送迎等対応 近隣住民から認知症ケア相談 家族の宿泊、美容院、ドライブ等買物移送		家族又は本人の希望により通夜看護、終末期の入院、家族利用者会等
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	警察への協力依頼、消防署との防火訓練を直してつかりが出来ている。近くの薬局、衣料品店、町内会の方も不思議に思われないように連絡先を知らせる方も協力をお願している。		<ul style="list-style-type: none"> ○地区センターとの交流が3策あり、地域交流サークルに参加している ○町内会等に積極的に参加できるようにしている。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	家族から許可を得て、支援している		<ul style="list-style-type: none"> ○デイサービス(天母病院)。(そらり作り) ○タウンワーク(地区センター)(西区ちえん) ○折尾系サークル(生協での開催)
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	家族の意見利用者との		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>43 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>内科医 はじめ各医療機関との連携を取組んでいる。又流れはお互いに協力している。特にドクターとは気軽に相談出来ている。</p>	<p>○</p>	<p>今後もおやか健診等を利用し、健康状態、管理を支援していきたい。</p>
<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>44 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>各医師に理解をしていただき、診断治療はスムーズに出れている。</p>	<p>○</p>	<p>薬剤師より薬の服用の仕方、依存等の勉強会を利用者様と共に理解を深めて、実践している。</p>
<p>○看護職との協働</p> <p>45 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>看護職員の配置をしている。</p>		<p>利用者様の健康状態といつも把握していただいております。</p>
<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>46 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>入院した際に不安のない様 面会に行き安心していただく様 状態を把握し、職員一同わかるがわかる行きは持っている。又病院関係者の状態報告を得ることで、適切に対処している。</p>		<p>医療機関、医師、看護師に相談しやすい体制が出来ている。早期退院を望んでいる。</p>
<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>47 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>本人と普段からの日常会話の中で本心等とさりげなく得ている。又家族との話し合を設けている。又は人々のとも終末期の事に関しては話しをし理解してもらっている。</p>		<p>大切な事なので、本音でお話し合が出来よう様に努めている。</p>
<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>48 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること、できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>家族、又は身寄りのいない利用者様には特に安心していただく様 ホム長対応し、安心していただいている。 ホムで出来る事出来ない事を相談し、見極め、意見交換し、確認している。</p>		<p>本人の希望により、当ホーム内で葬儀を実施している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>・情報を共有する事でスムーズに実施出来ている。</p>		<p>・本人よりホーム長へ連絡があり(当ホームに遊びに来たいと依頼あり)本人の好きは食べものを職員が用意。又ホームでの生活の写真を持参し面会に行き、ホームに来所する日程を決定して来た。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>スタッフ1人1人が日々言葉づかいや表情に気をつけ利用者さんに対して謙虚に対応出来るように心がけている。</p>		<p>スタッフ1人1人が日々言葉づかいや表情に気をつけ利用者さんの前では丁寧に対応したり居室にて話したり、不快感をあたえないように個人情報の取扱には充分配慮している。</p>
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>忍耐強く働きかけたり見守っている。又居か可事にも力点をあいて支援している。新内得いながら支援している。</p>		<p>やさしくお話しする場を儲け、その方に合った声かけを行い自己決定の場が増えるように心掛けている。</p>
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>本人を尊重し、忍耐強く見守り、働きかけを行い、本人のペースを大切に、出来るだけ希望にそって支援している。</p>		<p>1人1人の思いを大切に、ペースも合わせる。食事時間食べたい物、行きたい場所、レクリエーションの支援が出来るよう取り組んでいる。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>たむけの理容美容院の利用を支援しており、それぞれにおしゃれで、本人の好きを長髪型をされている。入居者さんはいくつも清潔で、服装やアクセサリ等その人らしいおしゃれを楽していらっしゃる。</p>		<p>・たむけの理容美容院の利用の支援。 ・ネクタイ、アクセサリ、化粧品、女子の衣服を選んで着用されている。</p>
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>慢性疾患を持つ入居者も多いが健康状態に合わせておいしく見える盛り付けの工夫、調味料も変にXニュー変更をしている。 ・可能な場合はお手伝いしていただいています。</p>		<p>・キチン食の方であれば通常食を見直し、作り方をしている。 ・入居者さんの意見を聞き取り、Xニューを立っている。 ・生協の注文も入居者さんと一緒に決めていっている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	席立に取り入れ楽しんで いただいている。一緒に買物に出掛け 食材を選んでいただいている。		希望により食事メニューと一緒に 作る。又、一人ひとりの時間には 尾の話題はかけ楽しんでいただいている 時にはビール等も楽しんでいただくと。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々の排泄リズムにあわせて声かけを促している。 夜間はなるべく起こさない様に配慮し習慣に 取り組んでいる。トイレの排泄、自立に成功している ケースがある。		時間、排泄リズムにあわせて誘導。 尿とりパットの種類等に工夫をしている。 家族の理解も得ている。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	シャワバス設置、利用者様にあわせ 夜間の利用も可能。日中利用者の希望に あわせ入浴している。		いつでも入浴出来る体制。 回数時間も柔軟に対応している。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	リビングにベッドやイスを用意している。清潔な 寝具を用意している。		テレビ鑑賞、談話等、休憩し落ちついて いただいている。寝具等は週に数回、 洗たくをしている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	カラオケ散歩、ジョギング等、 洗たく、食器洗い、配膳等一般的に家事 婦人の役割を番組を楽しんでいる。		ホウカオケ、外出時のカラオケ、ガススキル 出来る範囲での調理等もしていただい ている。職員も婦人に応じてメニューに金銭 し楽しんでいただいている様提供している。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	自分のお金の管理、又、買物への支援、 又、ホウカでの預り金(家族から預っているお金)を 手渡している。		必要に応じて希望がある際は、 買物に出掛ける。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>61 ○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p>	<p>その日に利用者さんが自己実現した事を支援するようにはかかっています。</p>		<p>買い物物にたじろけ付き歩い必車も用意して対応しています。花壇の手入れ、花のみの見守りも行っています。時には、外食やティータイムにレストランなどに同行しています。</p>
<p>62 ○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p>	<p>ホーム長・職員・利用者さん話し合いの場を作り、その人の希望を聞き、家族の協力の元実施出来るよう支援している。実施するにあたり、下ス会議にて計画を作り家族に相談している。</p>		<p>山菜刈り、ドライブ、花見、大型ショッピングセンターへの外出。遠方の親せきの方との再会が出来るように支援しています。</p>
<p>63 ○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話は自由にかけられるようになっており、居屋に電話も付けている方もいる。ハガキの提供やその手紙も支援しています。</p>		<p>家族・知人との連絡はプライバシーを保護し子器対応で居屋にて使用出来る。手紙は2名、住所の確認、ハガキの手紙を書く提案もごせて頂き、家族等によるご返信も頂いています。</p>
<p>64 ○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>御家族の訪問の際は、明るくお迎えしお茶をお出ししている。自所のポイントにはお湯とお茶の用意をしており、自由に利用出来る。入居者と一緒に食事したり宿泊することも可能である。</p>		<p>御家族の方の訪問も宿泊時には食事と一緒に食べたいといっています。宿泊時にはお風呂の用意や、居屋に2水入らずに通じせるよう寝具の用意もごせて頂いています。</p>
(4) 安心と安全を支える支援			
<p>65 ○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>契約書に記載にあり、実際に拘束は行なっていません。</p>		<p>拘束の件議もしており、職員同士での話し合い、理解しており、実践出来ている。</p>
<p>66 ○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	<p>AM 7:00 ~ 17:00 まで開放 PM 17:00 ~ 7:00 まで施錠</p>		<p>施設時間の短縮も行ない改善もはかた。職員は利用者さんの情報を把握しており連絡を取り安全に努めている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○利用者の安全確認</p> <p>67 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>常に見守り、音、様子、顔色、ぐさ等に注意している。</p>		<p>さげなない動きの中で、安全に努め配慮している。</p> <p>大きな声を出さないよう配慮。</p>
<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>68 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>洗剤等は、目のとどかないところに保管</p> <p>又、カーテンで目かくしに努めている。</p> <p>また、はみ等の刃物は、使い終えたら必ず目のとどかない所に保管、明確に取決めを執行している。</p>		<p>管理しているところは、目かくしになさよう、たすやとびらどあみっている。</p> <p>管理は職員が明確に取決めを執行している。</p>
<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>69 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>事故が発生した際は、ホム長にお連絡対応し、事故報告をまとめて、サービス改善に努める。</p> <p>また、この際は職員がすぐ行動できる様マニュアルがある。</p>	○	<p>発生防止の論の取り組み話し合いを職員一同で今後にも活かせる意義づけをしている。</p>
<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>70 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>職員は、救命救命の講習を受けている。</p> <p>又、緊急時の対応マニュアルを掲時している。</p> <p>管理者、ホム長の連絡は24時間連絡可能</p>	○	<p>定期的な会議を実施している</p>
<p>○災害対策</p> <p>71 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>避難訓練の実施</p> <p>町内の運営推進会場の場で協力を求めた。</p>	○	<p>年に2回の3Fにある避難入居の訓練を実施している。</p>
<p>○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>72 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>一人ひとりの身体能力にあわせて、日常動作の中で日々考え対応している。</p> <p>又、余知事なリスクに対して話し合いの場を設け対応している。</p> <p>常に家族との話し合いの場を設け理解を促している。</p>		<p>規制可能な限り見守り重視に努めている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	○看護師対応で観察し、受診実施も行っている。 家族に状況を報告し、受診依頼をしたり、定期往診日に医師に相談をし、指示通り実施。ホーム長と24時間連絡が取り、指示を受け対応する。ホーム長が来て対応する事もある。 ○主治医に状況説明・指示を受け対応している。		○夜勤時、AM3時に他階の職員間で利用者さんや職員の現状の連絡を取り、協力合っている。 ○起床時、2人で移乗している時の協力も行っている。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	○全ての職員が、全ての入居者の薬の目的、用法、副作用について周知しており、変更時必ずチェックして症状の変化に十分留意し、記録し、申し送りを実施している。		○温度板に個々に薬表をつけ、変更時のチェックをスグズに出来るように配慮し、特に居室担当者は再チェックをし、連絡帳にも記録し、職員全員が把握するように心がけている。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	○排便につながる食材も多種取り入れ、ヨーグルト関係の摂取量も増した事で、下剤の服用量も減ってきている。 ○よくかむ、腹圧マッサージ、肛門マッサージ、体操を行っている。 よう、忍耐強く、声かけ、見守りで浣腸に頼らない工夫をしている。		ホットパックや腹部・肛門マッサージ、リハビリ体操、野菜中心の食事作りを心がけ、医師に相談し、薬を変更してみたりして便秘に関しては、改善されてきている。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	○口腔ケアは毎食後行っています。 ○義歯の手入れも支援しています。 ○歯科応診にて実施しています。 ○歯科医の指導を受け、実施しています。		○安臥のある時は早急に歯科往診を受取る。 ○日々の口腔ケアに関しては、声かけ、一部介助、全介助にて実施している。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	○1日の水分や栄養のバランスに配慮しており、体重測定や血圧をチェックしています。カロリー計算は時々実施しています。 ○医師の指示を受け、病状により配慮しています。		○地区センターに献立もチェックして頂いています。 ○個々に応じて、粥・キザミ食の対応しています。 ○量についても持病により対応している。 ○水分・食事もチェック表に記録し徹底しています。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)。	○マニュアルを作成し、感染症に対する予防や対応について話し合っている。 手洗いの励行には、特に留意しています。 ○面会者に対し、フロアに入る前に手の消毒をして頂くよう説き置いて、 ○インフルエンザの予防接種も実施しています。		○冷蔵庫・台所廻りは、アルコール消毒、フリース対応しています。 ○床・椅子・トイレ等、フリースで掃除を実施しています。 ○口腔ケア・身体介護時、個々にグローブを併用し、対応しています。 ○食事担当は、介護時、エプロンと取返えて作業している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○食材の管理</p> <p>79 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>調理用具等、台所廻り、アルコール消毒 ・キッチンハイター、グローブ使用、対応 ・食材も常に新鮮なものを使用。</p>		<p>調理材食物を毎食検査とし、 2週間保管している。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり</p>			
<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>80 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>・出入り口の玄関を開放している。 ・花壇に色とりどりの花をさかせている。 ・野菜づくり。玄関廻り建物の環境整備につとめている。</p>		<p>・夜間はオートロックで施錠している。 ・日中は開放している。 ・花壇園芸の草取り等行っている。</p>
<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>81 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>・四季を通し室内のかげを利用し、利用者様の作品や歌うたの絵紙等を見せ楽しんでいただいている。又、生花を生花している。</p>		<p>・食堂を明るく、ゆったりとした空間がある。又、3匹猫や犬の存在が、利用者様にとって、いやではない。</p>
<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>82 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>・ほぼ自分用のサングラスを使用し、ゆったりとした雰囲気作りをしている。又、趣味を楽しんでいただいている。</p>		<p>・食卓テーブルで自由に飲み交わることが出来る。気の合った利用者様同士でお茶を飲んだり、ゆったりとすごしている。</p>
<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>83 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>・たばこの箱や布巾、ハンカチ、物を居室に入れていただいている。(14畳) 10畳も良くなるように配慮している。</p>		<p>・家庭的な雰囲気作りを努めている。</p>
<p>○換気・空調の配慮</p> <p>84 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>・定期的窓を開け空気を入れ替え、換気扇を稼働し乾燥している際は、ぬいぐるみ等で対応。</p>		<p>・空調設備が整っている。 ・風通しのよい環境づくりに努めている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>85 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>・環境整備には気を付け、事故のない様、居室・フロア内を安全に活動出来るように常に配慮している。</p> <p>・安全に自転車こぎが出来るスペースがある。</p> <p>・窓にはロック錠があり、安全に空気の入れ替えが利用者さんで出来る。</p>		<p>利用者さんの状況に応じて、居室の環境を整備し、安全に生活出来るように、転落しない工夫、リヒングにて、安全に過ごせるよう、その日のうちに対応するようにしています。</p>
<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>86 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>目印兼目隠しとす工夫をし、三角に折って「トイレ」「入居者の名前」をイラスト入りの名刺張っています。</p>		<p>・いつも同じ場所に居る方に移動時利用者さんの意見を必ず聞いてから実施する。</p> <p>・常に「どうしたの？困った事はありますか？」と問いかけている。</p>
<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>87 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>家庭的な雰囲気の中で活動できるように配慮し、自由に利用したり出入り出来る空間で楽しめる工夫をしている。</p>		<p>・玄関先には花たんがあり、好きな花を買って来て植えたり、ハランダ菜園をし、椅子を置き、自由に出入りが出来るんびりする事が出来る。</p> <p>・洗濯物や布団を干したりするスペースがあり、家庭的な雰囲気になよう工夫している。</p> <p>・ホーム前で「バーベキュー」をしたり、ハランダには椅子を置き楽しめる工夫している。</p>

V. サービスの成果に関する項目		
	項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない

V. サービスの成果に関する項目		
	項目	取り組みの成果
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input checked="" type="radio"/> ①太いが増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くない
98	職員は、生き生きと働いている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

利用者一人一人の意見等を聞き、その希望に応じた様子を職員一同
 協力して取り組んでいます。
 食事も朝食と夕食に調理は協力して、夜食は職員が担当する
 には、又家族、近所の方等からの道義的な支援も受け付けています。
 職員も日々頑張っています。利用者様一同の笑顔が、

も FOP-